

回覧



出雲郷小学校 学校だより

令和7年11月

文責：校長



ああ 出雲郷小は よいところ

感動したあだかえっ子発表会

11月7日にあだかえっ子発表会を行いました。全部の学年をとおして見るとよくわかりますが、上の学年になるにしたがって発表する力が本当に伸びています。

また、この行事にかけるこどもたちの思いが非常によく伝わる発表会でもありました。私自身は初めての参加でしたが、こどもたちが非常に生き生きと取り組んでいることがわかってうれしく思いました。各学年のたより紹介します。

1年生 『61ぴきのねこ』

絵本「11ぴきのねこを」題材に合唱奏を取り入れながら物語は進んでいきました。セリフ・ナレーターの台本を覚えて1か月間、発表会に向けて練習を頑張りました。何回も練習を重ねていくにつれてこどもたちは、セリフに加えて振り付けを考えたり、聴いている人に伝わる大きな声で言えたりできるようになりました。こどもたちの気持ちはいつも前向きで「もっと頑張りたい！もっとかっこいい発表会にしたい！」と張り切って練習していました。



2年生 『十二支のはじまり』

たくさんの練習を重ねて、いよいよ本番！みんなとても頑張りました。動物になりきって出てくるところや、セリフのところの動きは、こどもたちが考えました。動物や言葉に合った動きを話し合い、工夫をしていましたよ。いよいよ本番！という思いもあり、ものすごく緊張していた2年生。「ドキドキをパワーにかえてがんばろう！」と伝えてテージに送り出しました。本番の姿を見て、また一つ成長を感じ、うれしく思います。素敵な発表会でした。



3年生 『松江のだからものをさがしにいこう』

家で自分のパートを練習したり、動画を見てダンスの練習をしたり、発表会に向けて自分なりのめあてを持って臨んだことがよくわかりました。また、「友達のマラカスのリズムが上手だったから安心してリコーダーを演奏できた。」、「クラス全体が少しずつ練習よりもよくなっていた。」など、友達や全体の良さに気づいて書いている人もいました。こども達には、「何かができた。」ということだけが大切なのではなく、「頑張った過程」や、「参加しようとした気持ち」なども大切だという話をしています。



4年生 『トライ

～みんなでやってみよう～』

4年生としてレベルアップしたところや仲間と協力する姿、一生懸命にがんばるところをたくさん見させてくれて成長を感じました。保護者の皆様には衣装の準備やお弁当の用意などご協力いただきありがとうございました。たくさん見に来ていただき、こども達の励みになったと思います。



5年生 『未知へ～新たな自分との出会い～』

1学期の終わりから練習してきた合唱「小さな勇気」・合奏「シング・シング・シング」が、もう聞けなくなると思うと、とてもさみしい気持ちでいっぱいです。連合音楽会から、さらに呼びかけや新たな動きを加え、パワーアップした姿を見せることができたのではないか、と思います。5年生のみんな、おつかれさま。



6年生 『伝えよう未来へのバトン

～平和という宝物～』

平和学習で学んだことや考えたことを劇やナレーションという形で発表しました。練習を始めた頃は、大きな声を出したり感情をこめたりすることが難しく、なかなかできませんでした。お子さんから聞いているかもしれません、大きな声を出すために校庭に出て練習をする日もありました。「さすが6年生!」「あんな6年生になりたい!」と1~5年生が思うような発表になるよう、こどもたちの本気を引き出すのはもちろん、担任一同も本気で取り組んでいました。



家庭教育にお願いしたいこと…（私が担任時代に書いたエッセイの一部です）

「宿題がきちんとできる子」「忘れ物がない子」

に育てていただきたいと思っています。当たり前と言えばその通りです。しかし、なかなかできないお子さん多くいるのです。どうやって、親が言わなくてもきちんとできるような子なるのか?これは、親としての命題ですね。『忘れ物しないように親が準備する』なんてことはもちろんだめだと思います。こどもが身につければいけない習慣なのに親がやっていては成長できないと思います。私は、この2つの徹底を図ることが、家庭教育でとても大切だと思います。どうしたらそのような徹底が図られるのか。そこはみなさんの個々のアイディアで身につけてほしいと思います。初めの苦労が後々は楽に変わっていくのです。